

Diagnosis of Causation, Boundary Layer Meteorology, 56, 339-358.
 Park H.S., 1987: Variations in the Urban Heat Island Intensity Affected by Geographical Environments, Environmental Research Center Papers, University of Tsukuba, No. 11, 79 pp.
 Landsberg, L. E., 1981: The Urban Climate, Interna-

tional Geophysics Series, Vol. 28, Academic Press, 275 p.
 Mitchell, J. M., 1961: The Temperature of Cities, Weatherwise, 14, 224-229.
 Yamashita, S., 1990: The Urban Climate of Tokyo, Geographical Review of Japan, Vol. 63 (Ser. .B), 98-107.



第6回「サイエンティフィックライブ・サピエンス」開催のお知らせ

主催: 日経サイエンス社
協賛: 日製産業株式会社
テーマ: 『地球環境のドラマ～温暖化の謎を解くサングと氷～』

〈第1部〉プレゼンテーション

- * サングは地球環境の“生き証人”
 通産省工業技術院地質調査所科学技術特別研究員 池田すみこ氏
- * 氷は環境情報のデータベース
 国立極地研究所教授 渡辺興亜氏
- * 温暖化と寒冷化を繰り返す地球
 東京大学海洋研究所教授 平朝彦氏

〈第2部〉パネルディスカッション

- * 地球の過去・現在・未来——環境変動の不思議に迫る
 パネリスト/池田すみこ氏, 渡辺興亜氏, 平朝彦氏

日時: 平成6年11月12日(土)
 13:30~17:30 (13:00開場)
会場: 日経ホール (日本経済新聞社8F)
 東京都千代田区大手町1-9-5

参加費: 無料

応募方法: 官製ハガキまたはFAXにて住所、氏名、年齢、職業(学校名)、電話番号をご記入のうえ、下記あて先までお送り下さい。先着300名様をご招待いたします。お電話でのお申込みも受け付けております。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

応募締切: 10月28日(金) 到着分まで有効

応募先とお問い合わせ

〒100-66 東京都千代田区大手町1-9-5
 日経サイエンス社
 『サピエンス事務局』P係
 TEL: 03-5512-1546
 FAX: 03-5511-8578

1994年度（第31回）秩父宮記念学術賞推薦について

各賞担当理事 中村 一

秩父宮記念学術賞は、秩父宮殿下が財団法人日本学術振興会総裁として、わが国の学術振興のために多大の尽力をされた御事跡を記念して、格別に深い関心を寄せられた「山」に関する科学で顕著な業績を挙げた

ものに授与されるものです。

この賞に日本気象学会として推薦するにふさわしいと思われる会員またはグループがありましたら、学会事務局までお知らせ下さい。（締め切り：10月17日）



酸性雨シンポジウムのお知らせ

日本化学会酸性雨問題研究会は下記のシンポジウムを行います。皆様のご参加をお待ちしています（入場無料、資料代約500円）

テーマ：環境教育と酸性雨

日時：11月24日（木）13：00～17：00

場所：化学会館ホール（JR「お茶の水」駅下車3分）

プログラム

環境教育として、酸性雨をどうとらえればよいのか、

学校教育の立場、教育出版の立場、市民運動の立場、自治体の立場、測定器メーカーの立場から現場で「酸性雨」をどう取り扱っているかを紹介していただき、科学、特に化学の専門家を中心に意見を交換したいと思います。

総合討論 座長 農工大 小倉紀雄 教授

連絡先：慶応大学理工学部環境化学

田中 茂

☎045-563-1141（内線3458）



MU レーダー—般公開のご案内

京都大学超高層電波研究センターでは、滋賀県甲賀郡信楽町に設置されている MU レーダーの一般公開を、1994年11月12日（土）午前10時から午後4時に行いますのでお知らせします。

MU レーダーは、直径約100mの円形アレイ・アンテナを備えた周波数46.5 MHz の大気観測用レーダーです。1984年11月の完成以来、最先端の電子技術を駆使して高度500 km までの地球大気の動きを観測しています。一般公開では、MU レーダー装置の見学を中心に、地球環境問題に貢献するレーダー技術の展示を行

います。

MU レーダーへの交通は、信楽高原鐵道・信楽駅から自動車で約15分（国道422号線を上野市方面へむかって進み、滋賀-三重県境手前約1 km を左折）。当日は信楽駅から送迎用のマイクロバスを運行します。MU レーダー内に食堂・売店などはありません。またスリッパなどを持参のこと。問い合わせは、電話(0748)82-3211 京都大学超高層電波研究センター信楽 MU 観測所・山本まで。

（京都大学超高層電波研究センター）

編集後記：今年の夏の東京は、本当に耐えがたいような猛暑でしたが、皆様はいかがお過ごしになりましたでしょうか。暑いのは不快ですが、ここ数年冷え込んでいた景気にとっては「恵みの暑さ」になったようで、特に清涼飲料水、エアコン、夏物衣料など季節物の業界は昨年とは打って変わって活気があふれたようです。私も、例年よりもビールを消費しまして、僅かながらも日本経済の活性化に貢献できたと自負しております。

昨年、今年と「異常気象」が続いたせいか、最近、長期予報がトップニュースに近い扱いで報道されることが多いような気がします。また、8月には気象予報

士の試験が初めて実施されたこともありまして、気象学が社会的な関心を集めた夏だったと思います。

さて、私は終わりに近づきつつある「研究機関めぐり」の担当なのですが、先日、会員の所属する研究機関のリストアップをしてみました。気象学を活かす分野の機関も多数あり、学会員の層の厚さを感じました。とはいえ、現時点では経済などの社会科学系の研究機関は少数でしたが、気象学会の裾野がますます広がった暁には、この方面の研究者の方々のお話も是非伺いたいものです。

（山本 佳緒里）